



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年8月14日

上場会社名 株式会社アイスコ 上場取引所 東
コード番号 7698 URL <https://www.iceco.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)相原 貴久
問合せ先責任者 (役職名)取締役CFO (氏名)永野 泰敬 (TEL) 045(811)1302
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の業績 (2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	12,204	9.4	228	299.7	241	260.1	156	260.1
2023年3月期第1四半期	11,150	5.0	57	△66.0	67	△61.6	43	△64.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	81 08	79 54
2023年3月期第1四半期	22 75	22 25

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	16,722	3,294	19.7
2023年3月期	15,124	3,166	20.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 3,292百万円 2023年3月期 3,164百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	19 00	-	18 00	37 00
2024年3月期	-				
2024年3月期(予想)		15 00	-	15 00	30 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,810	4.3	262	123.9	318	77.6	205	42.5	106 50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	1,928,400株	2023年3月期	1,924,800株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	— 株	2023年3月期	— 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	1,927,015株	2023年3月期1Q	1,907,473株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の将来に関する記述は、業績に与える不確実な要因に係る仮定及び本日現在における入手可能な情報を前提としており、実際の業績等は様々な要因等で大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し落ち着きを見せるものの、世界的な原材料価格の高騰や円安による物価上昇など、先行きの見通せない不透明な状態が続いております。

当社が身を置く食品流通業及びスーパーマーケット業につきましては、原材料価格の高騰や、人件費、燃料費等のコスト上昇による価格転嫁の動きから、節約志向がより一層進む厳しい経営環境となっております。

このような情勢のなか、当社は食を通じた社会貢献を目標に、取引先との関係強化を図るとともに、効率的な物流網の構築や、地域密着型の店舗運営を推進、食料品の安定供給に努めてまいりました。

当第1四半期累計期間は燃料費等のコスト上昇分に対する価格転嫁が進んだことや、ドラッグストアやディスカウントストアといった主要得意先との取引が堅調に推移したことにより、売上高12,204百万円(前年同四半期比9.4%増)、営業利益228百万円(前年同四半期比299.7%増)、経常利益241百万円(前年同四半期比260.1%増)、四半期純利益156百万円(前年同四半期比260.1%増)となりました。

各セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

a. フローズン事業

フローズン事業につきましては、燃料費、電気代等のコスト上昇分に対する価格転嫁が進んだことや、主要得意先であるドラッグストアの新規出店等により堅調に推移いたしました。また、2023年6月に商品在庫を保有しない通過型センターを茨城県に開設し、北関東エリアの物流効率の改善に努めております。この結果、フローズン事業の売上高は10,703百万円(前年同四半期比16.8%増)、セグメント利益は247百万円(前年同四半期比149.0%増)となりました。

b. スーパーマーケット事業

スーパーマーケット事業につきましては、前事業年度に3店舗の閉店を行うなど、スクラップアンドビルドを進めた結果、セグメント売上は前年同期比で減少しておりますが、セグメント利益の黒字化に向け、管理コストの削減や、販売促進費の見直し等、抜本的な改革に取り組んでおります。この結果、スーパーマーケット事業の売上高は1,500百万円(前年同四半期比24.3%減)、セグメント損失は18百万円(前年同四半期はセグメント損失42百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べて、1,598百万円増加し、16,722百万円となりました。これは主に、フローズン事業の売上の増加に伴い現金及び預金が1,080百万円、受取手形及び売掛金が816百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べて、1,470百万円増加し、13,428百万円となりました。これは主に、フローズン事業の仕入の増加に伴い支払手形及び買掛金が1,172百万円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて、128百万円増加し、3,294百万円となりました。これは主に、利益剰余金が121百万円増加したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績は、計画どおりに推移しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,000,147	3,080,819
受取手形及び売掛金	4,162,883	4,979,009
商品	615,588	682,124
未収入金	2,160,316	1,850,682
その他	21,586	17,539
貸倒引当金	△733	△861
流動資産合計	8,959,788	10,609,313
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,942,082	1,914,819
機械及び装置(純額)	123,905	118,505
車両運搬具(純額)	139,837	121,144
工具、器具及び備品(純額)	126,134	121,035
土地	2,522,221	2,522,221
その他(純額)	52,291	51,011
有形固定資産合計	4,906,472	4,848,737
無形固定資産		
ソフトウェア	8,789	7,061
その他	7,158	7,147
無形固定資産合計	15,947	14,208
投資その他の資産		
投資有価証券	39,129	43,081
繰延税金資産	476,599	475,412
保険積立金	65,950	68,509
差入保証金	642,764	647,452
その他	18,009	16,181
貸倒引当金	△408	△408
投資その他の資産合計	1,242,046	1,250,229
固定資産合計	6,164,466	6,113,175
資産合計	15,124,255	16,722,489

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,999,569	8,171,963
短期借入金	700,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	398,209	378,811
未払金	325,525	344,581
未払費用	502,870	678,183
未払法人税等	50,850	100,550
未払消費税等	32,652	98,028
賞与引当金	138,335	233,222
その他	46,181	40,014
流動負債合計	9,194,195	10,745,356
固定負債		
長期借入金	1,821,034	1,731,332
長期未払金	155,100	155,100
退職給付引当金	670,969	679,993
資産除去債務	76,465	76,505
その他	40,406	40,030
固定負債合計	2,763,976	2,682,960
負債合計	11,958,171	13,428,316
純資産の部		
株主資本		
資本金	360,832	362,721
資本剰余金	285,832	287,721
利益剰余金	2,504,020	2,625,608
株主資本合計	3,150,684	3,276,050
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,025	16,790
評価・換算差額等合計	14,025	16,790
新株予約権	1,373	1,331
純資産合計	3,166,083	3,294,172
負債純資産合計	15,124,255	16,722,489

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	11,150,682	12,204,084
売上原価	9,192,505	10,097,800
売上総利益	1,958,177	2,106,284
販売費及び一般管理費	1,901,026	1,877,856
営業利益	57,151	228,428
営業外収益		
受取利息及び配当金	150	150
不動産賃貸料	12,260	13,140
雑収入	7,995	7,108
その他	826	506
営業外収益合計	21,232	20,906
営業外費用		
支払利息	4,266	3,866
不動産賃貸費用	3,727	3,540
その他	3,230	98
営業外費用合計	11,224	7,505
経常利益	67,158	241,828
税引前四半期純利益	67,158	241,828
法人税等	23,770	85,595
四半期純利益	43,388	156,233

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項ありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)3
	フローゼン事業	スーパー マーケット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,166,810	1,983,871	11,150,682	—	11,150,682
セグメント間の内部 売上高又は振替高	51,292	—	51,292	△51,292	—
計	9,218,103	1,983,871	11,201,975	△51,292	11,150,682
セグメント利益又は損失 (△) (注)2	99,293	△42,142	57,151	—	57,151

(注)1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△51,292千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)には適当な配分基準によって、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第1四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)3
	フローゼン事業	スーパー マーケット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,703,189	1,500,894	12,204,084	—	12,204,084
セグメント間の内部 売上高又は振替高	49,712	—	49,712	△49,712	—
計	10,752,902	1,500,894	12,253,797	△49,712	12,204,084
セグメント利益又は損失 (△) (注)2	247,262	△18,834	228,428	—	228,428

(注)1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△49,712千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)には適当な配分基準によって、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。